

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [赤穂市立有年小学校] 担当教諭名 [前田 雄哉] (5年1組 8名)

相手国・地域 [オーストラリア]

海外学校名 [Hillman Primary School] 担当教諭名 [Fiona Nutz]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界とつながろう	26

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	ふるさとの文化、四季
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	お互いの理解を深めていくと、一つの物事を成し遂げることができる。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 外国の子どもたちと交流できる貴重な機会となった。 相手国のことをもっと知りたいと思い、異文化に興味をもつことができた。 自分の地域の良さを知り、相手に伝えようという気持ちが育った。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習とのバランス(時間数)をどうとるのが難しい。 相手校の都合で skype での交流ができなかった。子供同士が実際に会話をするとより充実した活動になる。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 赤穂市との姉妹都市(ロッキングハム)への意識が高まった。 地域の文化に触れ、改めてふるさとを大事にする態度が身についた。 一つの目標に向かって学校の友達だけでなく、海外の友達とも協力することの大切さを学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手国を身近に感じた。 グローバル化の必要性を理解した。 言語が異なる国との交流の難しさを感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	・フォーラムに自己紹介動画をアップする。 ・相手国の自己紹介を見る。	・今後の活動に意欲が湧いてきた。	総合4
共有 テーマ学習	10月	・自分たちの国や地域の文化を相手国に紹介した。	・自分たちの国のことを再認識した。	総合7
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	・自分たちが紹介した文化をもとに原案を作成。フォーラムを使い相談し、案を決定する。	・相手国に絵の内容が伝わるように考えた。	総合3
創造 壁画制作	11月 12月	・鉛筆や油性マジックで下書きをする。 ・専用絵の具でキャンバスに塗る。	・良いものを作ろうと、作業を分担して、描画作業に取り組んでいた。	総合8
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	・1月下旬に発送。 ・相手国の制作過程をフォーラムでチェックする。 ・届いた作品を児童玄関に掲示。	・オーストラリアの文化について深く知ることができた。 ・児童玄関に掲示することで、達成感を味わうことができた。	総合4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自分たちの地域について考える機会となったから。
異文化を理解する力	4	海外の小学生と交流できたから。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	子供達が、地域の文化を積極的に調べ、絵に表現することができたから。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	2	英語の能力が高くないと感じたから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	批判的にするまでの内容にならなかったから。
主体的に考え行動する力	4	絵を創作する過程で、自分たちで考えて取り組むことができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	友達と協力して作成することができたから。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	2	自分たちのまちの文化を絵では表現できたが、言葉で表現するまでには至らなかった。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	作品を鑑賞する中で、自分たちのがんばりに気づいたり、オーストラリアへの愛着がわいてきたりした。